

よくある質問

資金調達オプション

政府の下での資金 調達。スキーム（ MSME）

1. インドの商業銀行が実行するローンの金利のガイドラインは何ですか？

金融部門の自由化の一環として、利息の請求を含む銀行の信用関連のすべての問題はインド準備銀行（RBI）によって規制緩和され、銀行自身の貸付政策によって管理されています。銀行が前払いの金利と金融政策伝達の効率を決定するための方法論の透明性を高める観点から、2016年4月1日から、銀行は資金ベースの貸出金利の限界コストを参照してすべての前払いを認可する必要があります。（MCLR）。銀行は、ベースレート/ベンチマークプライムレンディングレート（BPLR）からMCLRに切り替えるオプションを顧客に提供する必要がある、これは既存の施設の差し押さえとして扱われるべきではありません。詳細については、[ここをクリックしてください](#)

2. なぜ小規模な借り手が信用格付けを必要とするのですか？

中小企業（MSME）への信用フローを促進し、貸付機関の快適性レベルを高める観点から、評判の高い信用格付け機関によるMSMEの信用格付けを奨励する必要があります。銀行は、これらの格付けを可用性ごとに検討し、適切な場合には、借用MSMEに割り当てられた格付けに応じて金利を構成することをお勧めします。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

3. MSEの借り手に信用格付けは必須ですか？

信用格付けは必須ではありませんが、銀行から融資を受けるローンの信用価格設定に役立つため、信用評価を行うことは零細中小企業（MSME）の利益になります。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

4. MSE借り手への会費の遅延支払いのガイドラインは何ですか？

バイヤーは、彼とサプライヤーとの間で合意した日付またはそれ以前に書面で、または合意がない場合は指定された日までに支払いを行うものとし、販売者と購入者間の契約は、45日を超えては

なりません。バイヤーがサプライヤーに金額を支払わなかった場合、彼は、指定された日からの金額、または合意された日付の3倍の銀行レートで、月次の休憩を伴う複利をサプライヤーに支払う責任があります。準備銀行からの通知。サプライヤーが提供する商品またはサービスについては、バイヤーは上記のアドバイスに従って利息を支払う責任があります。未払い額に関して紛争が発生した場合は、それぞれの州政府が構成する零細および中小企業促進協議会を参照するものとします。MSEへの大企業の借り手の支払い義務を処理するために、銀行は大企業の借り手（つまり、銀行システムから150万ドル以上の運転資本制限を享受している借り手）への信用限度を承認/更新する間、特に現金ベースまたは請求ベースのいずれかでMSEからの購入に関する支払い義務を満たすために、全体的な制限内で個別のサブ制限を修正します。銀行はRBIからも、特に企業の借り手から定期的にMSEユニットに対する企業の借り手の会費、MSEサプライヤーに対する会費の範囲を確認し、企業のそのように作成されたサブ限度で利用可能な残高を使用して、「指定日」/合意日より前にそのような会費を支払います。これに関して、関連するRBI通達。2000年10月16日付けのIECD / 5 / 08.12.01 / 2000-01（2003年5月30日に繰り返され、回覧番号IECD.No.20 / 08.12.01 / 2002-03を参照）は、RBI Webサイトで入手できます。詳細については訪問喜ばリンク1またはリンク2を。